

稲WCSを用いた乳用牛の育成方法の確立

試験年度：R5～R7

背景・目的

近年の世界情勢の影響により、輸入乾草の価格は高値が続いています。酪農経営では飼料費が経営コストの約5割を占めるため、非常に厳しい状況です。酪農経営の安定のためには、生産性を落とさずに飼料費をいかに低減するかが課題となっています。

稲WCSは安全・安心な国産飼料であり、岡山県内でも作付面積が拡大している安価な飼料です。稲WCSは搾乳牛では広く利用されていますが、発育などの影響への危惧から育成牛への利用はあまり進んでいません。

そこで当研究所では、稲WCSを育成牛に給与し、発育及び繁殖成績への影響調査を行うことにより、低コスト育成方法を確立するための試験に取り組んでいます。

試験内容・成果

1 育成牛（8～15か月齢）への稲WCS給与試験

試験頭数：試験区6頭、対照区6頭（計12頭）

給与飼料：対照区…配合飼料＋輸入乾草

試験区…配合飼料＋輸入乾草＋稲WCS

※乾草の7割（乾物ベース）を稲WCSに置き換えています。

調査項目：①発育状況（図2）

②飼料コスト削減効果（図3）

成果：両区とも発育は順調であり、繁殖成績も問題ありませんでした。

試験区の飼料コストは、対照区と比較して約2割を削減することができました。



図1 稲WCSを食べる育成牛

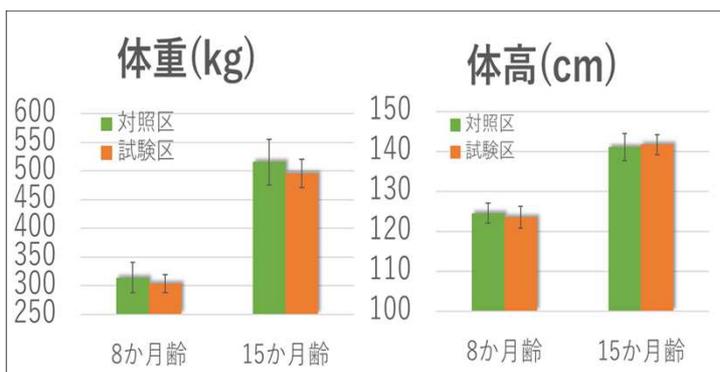


図2 発育状況

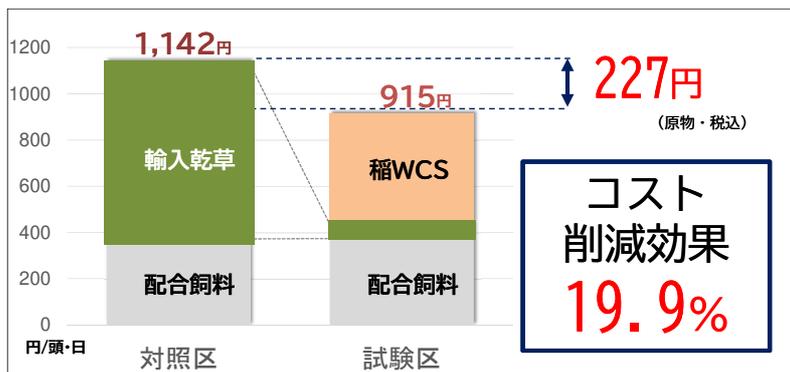


図3 飼料コスト削減効果

2 現地実証試験

岡山県内酪農家で、育成牛に稲WCSを給与する現地実証試験を行っています。

まとめ

- ・育成牛への稲WCS給与は、発育・繁殖成績への影響はなく、輸入乾草の代替が可能であり、飼料コストも約2割削減できました。
- ・今後は試験結果を示し、岡山県内酪農家に育成牛への稲WCSの利用を推進します。

お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター畜産研究所

久米郡美咲町北2272 TEL. 0867-27-3321